

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会	主 査 名：岩本毅 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：田辺 新一 主 査 名：岡野利行
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内で発生する外部騒音レベル(床衝撃音, 空気伝搬音, 共用設備からの固体伝搬音など)を加味した最適な遮音性能水準を検討, 提案 ・2014 年度: 室内発生音レベルを考慮した最適な室内騒音レベル(外部騒音に対する)の検討 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無: 無し	
	主査: 岩本毅(三井住友建設) 幹事: 小林秀彰(三井住友建設) 委員: 濱田幸雄(日本大学), 羽染武則(東急建設), 田端淳(大成建設), 古賀貴士(鹿島建設), 大脇雅直(熊谷組) 坂口紳一(東海興業), 山下恭弘(信州大学), 坪井政義(大林組), 藤本一壽(九州大学), 大内孝子(建設環境研究所)	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2014 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無: 有 委員会 HP アドレス: http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fb00-12/fb20-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 実際の住宅における音源別室内騒音の発生傾向の確認 2. 交通騒音の評価に関する論文調査 3. 鉄道騒音紛争に関する判例調査
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2. 3.

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>本小委員会は集合住宅の床衝撃音、室間遮音および交通騒音等の外部発生騒音と建物内発生騒音に対する居室における発生騒音（以下室内騒音）に関して、遮音性能評価水準を検討、提案し、実務で生じる苦情等の是非に対する判断基準の目安として活用できるようにすることを目的としている。</p> <p>今年度は、住戸内で録音された騒音を元に室内騒音レベルの最適値について検討を行った。高速道路、一般道路、鉄道など建物の立地条件によって騒音の評価値（Leq、時間率騒音レベル、最大値など）がどのように変化するかを確認し、それに対して考察を行っている。道路騒音と鉄道騒音を比較すると騒音レベルの発生頻度が大きく異なる傾向にあるのでそれに関する検討を今後実施する予定である。</p> <p>また、交通騒音に対する論文調査を実施し道路騒音と鉄道騒音に対する感覚量の違いについて意見交換した。</p> <p>さらに、鉄道騒音についてはLeqで評価するか最大値で評価するかもしくはその双方を併用するかの検討を実施中で、小田急訴訟などの判例を参考にしながら次年度以降検討を進めることとした。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。